

小児ぜんそくの治療・管理を支援するアプリをリリース

関東学院大学、国立成育医療研究センター、東京都立小児総合医療センターが共同開発

関東学院大学は、国立成育医療研究センター、東京都立小児総合医療センターとの共同研究の成果として、小児ぜんそくのお子さんご家族向けのアプリ「チャイルドアズマ (CA-SMaTA : Child Asthma-Self Management Tailored App.)」をリリースしました (開発代表者: 看護学部専任講師 飯尾美沙)。本アプリは、(1)服薬状況やコントロール症状に合わせたメッセージを含むぜんそく症状の記録・管理機能、(2)マンガやクイズ方式で小児ぜんそくについて親子で理解を深める機能、(3)発作が起きた時や災害時などのもしもに備えるための知識や実践を学ぶ機能の3つを備えています。本アプリによって、ぜんそく症状や服薬の管理を継続して支援することで、小児ぜんそくの治療・管理に貢献できることを期待します。なお、本アプリはシカデン株式会社にアプリ制作を委託し、JSPS 科研費 JP18H03101 の助成を受けて開発したものです。

【App 開発の背景】

日本では近年、生活環境や疾病構造の急激な変化により、子どもの3割が何らかのアレルギー疾患を有しています。その中でも小児ぜんそくは有病率が高く、長期的な治療・管理が必要な疾患です。ぜんそくのお子さんご家族への疾患理解を深める支援、および長期にわたる管理行動を継続するための支援が求められています。本アプリはぜんそくのお子さんご家族の日常に寄り添い、日々の地道な頑張りを応援することを目指して開発しました。

【App 詳細】

アプリ名称: チャイルドアズマ (CA-SMaTA : Child Asthma-Self Management Tailored App.)

対応プラットフォーム: iOS

価格: 無料 (課金なし)

特徴:

メッセージや知識編の内容は、お子さんの発達段階 (年齢) に応じて設計・開発したアプリです。



チャイルドアズマ

CA-SMaTA
Child Asthma-Self Management Tailored App.

App のダウンロードはこちら



関東学院大学 概要

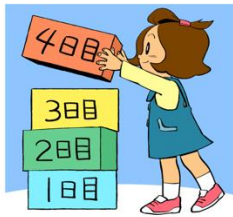
1884年横浜・山手に米国人宣教師が創立した横浜バプテスト神学校が源流。1949年の学制改革により関東学院大学となる。現在では、国際文化、社会、法、経済、経営、理工、建築・環境、人間共生、教育、栄養、看護の11学部を設置する総合大学。
学生数 10,962名(2021年5月現在) 学長 小山 巖也(こやま・よしなり)

取材等に関わるお問合せ先

関東学院大学 広報課 浜 香代子
TEL: 045-786-7049
kouhou@kanto-gakuin.ac.jp
横浜市金沢区六浦東1-50-1

【App イメージ】

特徴・機能① ～記録編～



毎日の記録・カレンダー

薬の使用やぜんそく症状、コントロール状態を記録できます
 薬の使用については10日前まで、
 カレンダーの日記についてはいつでも、
 さかのぼって記録できます



特徴・機能② ～知識編～



特徴・機能③ ～備える編～

